



2019年原水爆禁止 国民平和大行進 和歌山→広島コース 5月27日(月) 白浜町役場前広場

2019年 平和行 出発集会 17:30~



夕日が落ちようとする白良浜

—核兵器禁止条約の早期発効を—

5月25日月曜日、曇り。白浜町の平和行進です。集会前、田辺・西牟婁原水協檜山さん、白浜原水協榎本さんと町長室、議会議務局を訪問。町長よりペナントと協賛金、議長からも協賛金を頂戴しました。又、「被爆者募金箱」設置も総務課でご協力頂ける事に。出発集会は和教組松葉さんが進行。地域代表の挨拶は高田由一県議。「米国が臨界前核実験を2月13日に実施していたことに触れ、『北朝鮮に持つな』言いながら自らは実験をおこなう許せない」と批判しました。白浜町からは、「二度とヒロシマ・ナガサキの惨劇を繰り返していけない。皆さま方の平和行進の取り組みに敬意を表するとともに、次世代の為に核のない世界を実現していかねばならない。町としても平和の取り組みを支援させていただきたい」と、井瀬誠町長自らご挨拶いただきました。次に、白浜町議会から長野庄一議員が「核兵器の廃絶は全国民の共通の願い。人類がいのちの宿る生命に影響を与える事は許されない」との挨拶を頂戴しました。次にわかやま市民生協の田辺・西牟婁通し行進者溝口佳奈さんが決意表明。最後「青い空」を歌い平和行進です。役場庁内前、井瀬誠町長と長野議員と行進参加者で記念撮影。平和行進は、宣伝カーに先頭に白良浜を通り白浜町中心街をゆっくり歩きました。平和行進の隊列には、お店から出て手を振ったり、行進にあいさつに來たりされる方がいます。集会・行進参加者は33人。署名12筆。募金7,100円でした。本日の行進は、すさみ町となります。5月27日付で、アメリカ大使館宛て臨界前核実験に対する抗議FAXを非核3団体で送付しました。